

## 第3期末（2025年12月10日）

基準価額	13,994円
純資産総額	735百万円
騰落率	8.0%
分配金	0円

# 限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式 厳選ファンド2023-07 (為替ヘッジあり)

追加型投信／内外／株式

## 運用報告書（全体版）

作成対象期間：2024年12月11日～2025年12月10日

第3期（決算日 2025年12月10日）

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド2023-07（為替ヘッジあり）」は、このたび第3期の決算を行いました。

当ファンドは、「TCWファンズII-TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラスII）」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY  
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過 2024年12月11日～2025年12月10日

## 基準価額等の推移



第3期首	12,961円	既払分配金	0円
第3期末	13,994円	騰落率(分配金再投資ベース)	8.0%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・2025年1月上旬から2月下旬にかけて、人工知能(AI)関連投資の発表などにより株価が上昇したこと
- ・4月中旬から6月下旬にかけて、米国による相互関税の一時停止や各国との関税交渉進展に加えて、中東情勢の緊張緩和、米利下げ期待などにより株価が上昇したこと
- ・11月下旬から当期末にかけて、主要半導体企業の好業績や次期AIモデルへの期待感などにより株価が上昇したこと

### <下落要因>

- ・期初から2024年12月下旬にかけて、米国の利下げペースの鈍化懸念などにより株価が下落したこと
- ・3月上旬から4月上旬にかけて、トランプ米政権による関税政策や半導体補助金廃止に伴う景気後退懸念から株価が急落したこと
- ・11月上旬から中旬にかけて、AIバブルへの懸念や米連邦準備制度理事会(FRB)高官の利下げに対する慎重な発言を受けて、株価が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	148円	1.182%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,512円です。
(投信会社)	( 41)	(0.330)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(103)	(0.825)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	19	0.156	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
(投資信託証券)	( 19)	(0.156)	$\text{売買委託手数料} : \text{有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料}$
その他費用	1	0.011	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(監査費用)	( 1)	(0.011)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	169	1.349	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

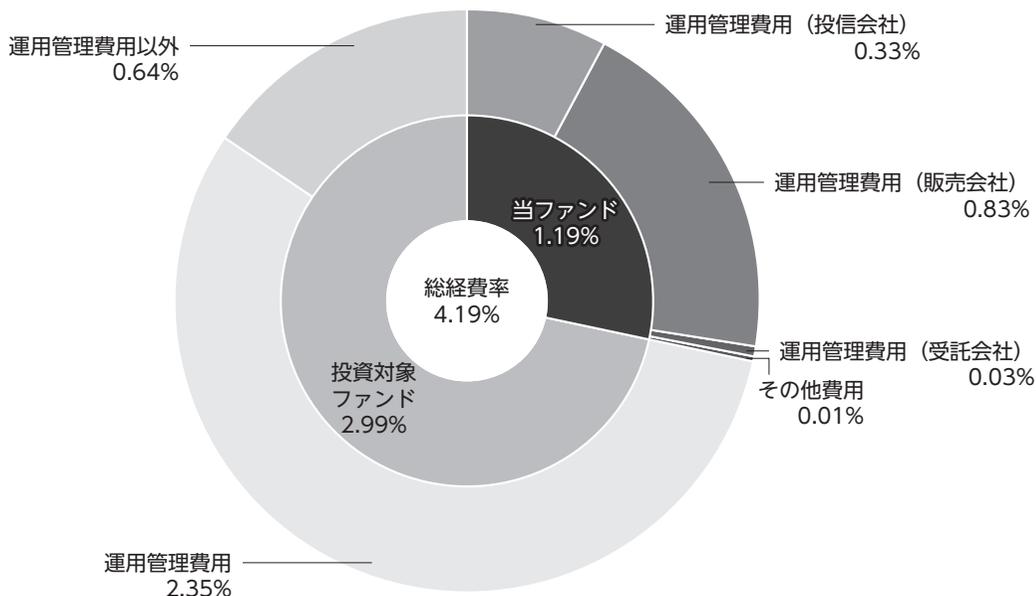
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。

(参考情報)

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は4.19%**です。



総経費率 (①+②+③)	4.19%
①当ファンドの費用の比率	1.19%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	2.35%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.64%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

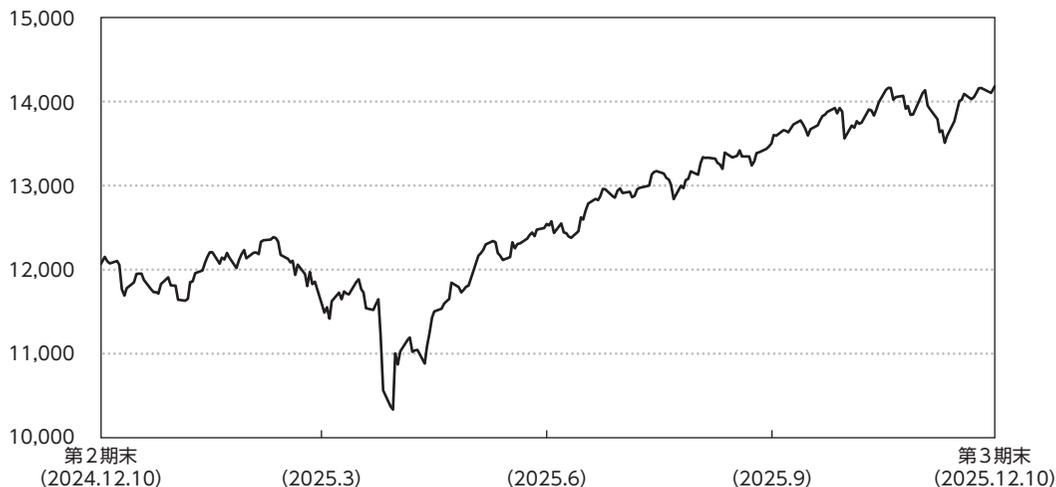
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 株式市況

【MSCIワールド・インデックス (配当込み、米ドルベース) の推移】



(注) FactSetのデータを使用しています。

株式市場は期を通じて見ると上昇しました。

期初から2024年12月下旬にかけては、米利下げペースの鈍化懸念などにより株価は下落しました。しかし、2025年1月上旬から2月下旬にかけては、AI関連投資のけん引により株価は上昇に転じました。3月上旬から4月上旬にかけては、トランプ米政権による関税政策や半導体補助金廃止に伴う景気後退懸念から株価は急落しました。しかし、4月中旬から6月下旬にかけて、米国による相互関税の一時停止や各国との関税交渉進展に加えて、中東情勢の緊張緩和、米利下げ期待などにより株価は上昇しました。さらに、7月上旬から10月下旬にかけては、株価は堅調に上昇しました。特に、米中半導体規制の緩和や関税交渉の合意が進む中、AI・データセンター関連の巨額受注や主要企業の好決算が相場をけん引しました。11月上旬から中旬にかけては、AIバブルへの懸念やFRB高官の利下げに対する慎重な発言を受けて、一時的に下落する局面もありましたが、11月下旬から当期末にかけて、主要半導体企業の好業績や次期AIモデルへの期待感から持ち直し、株価は上昇基調に転じました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラスⅡ）」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

### ■TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラスⅡ）

\*TCWアセット・マネジメント・カンパニーの資料（現地における当期末の前営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

日本を含む各国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。また、組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図りました。

組入銘柄については、日本を含む各国の株式のなかから、本来の企業価値に比べて株価が低く、今後の株価上昇余地が大きいと判断される銘柄に厳選して投資銘柄を決定しました。

当期末時点における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（42.8%）、資本財・サービス（22.1%）、コミュニケーション・サービス（14.4%）としており、国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（77.2%）、カナダ（7.6%）、イスラエル（6.6%）としています。

（注1）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

（注3）国・地域はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

## ベンチマークとの差異

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期
	2024年12月11日～2025年12月10日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,108円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラスⅡ）」への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

### ■TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド（円ヘッジクラスⅡ）

一部でAIバブルへの警戒感が高まっているものの、技術革新のスピードと大手テクノロジー企業の資金創出力からAIを主軸とした新たな産業革命は進行していくことが予想される中、米利下げが今後も継続する見通しであることも世界株式市場を下支えすると見込まれます。もっとも、世界的に政治情勢が不透明な様相が継続しており、景況感もまちまちであることから、金融市場におけるセンチメント（市場心理）の振幅が大きくなりやすいことが予想され、過度な楽観には注意が必要と判断しています。株式のバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）に留意しつつ、個々の企業業績を中心としたファンダメンタルズ（基礎的条件）に着目した物色や、セクターローテーション（景気の局面ごとに有望な業種別銘柄群に投資対象を切り替えていく戦略）の激しい動きが続く可能性が想定されます。

当ファンドでは、本来の企業価値に比べて株価が低く、今後の株価上昇余地が大きいと判断される銘柄に厳選して投資を行う方針です。なお、組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を行います。

### ■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### ■組入ファンド

	第3期末 2025年12月10日
TCWファンズII-TCW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラスII)	98.4%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

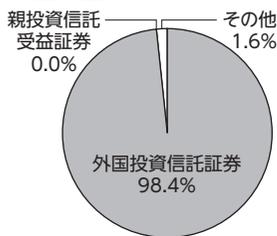
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### ■純資産等

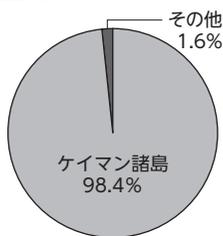
項目	第3期末 2025年12月10日
純資産総額	735,573,180円
受益権総口数	525,637,661口
1万口当たり基準価額	13,994円

(注) 当期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は346,628,451円です。

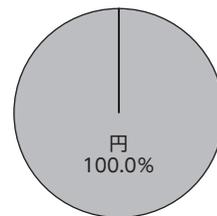
### ■資産別配分



### ■国別配分



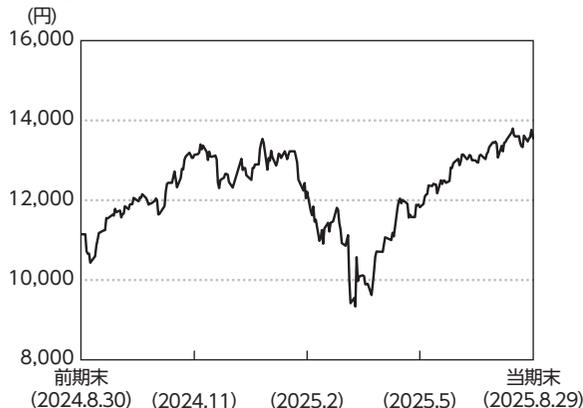
### ■通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2025年12月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## TCWファンズII - TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラスII) の概要

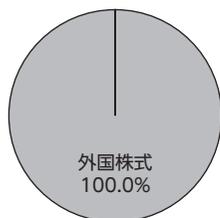
### ■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



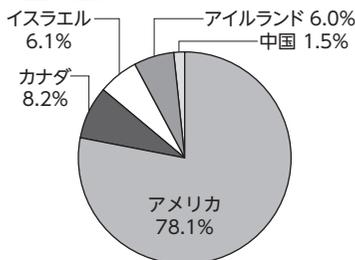
### ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Shopify, Inc. Class A	米ドル	8.2%
NVIDIA Corporation	米ドル	8.1
Vertiv Holdings Co. Class A	米ドル	6.9
Meta Platforms Inc Class A	米ドル	6.6
CyberArk Software Ltd.	米ドル	6.1
Eaton Corp. Plc	米ドル	6.0
Roku, Inc. Class A	米ドル	5.4
Cognex Corporation	米ドル	5.1
TransUnion	米ドル	4.6
Zoetis, Inc. Class A	米ドル	4.0
組入銘柄数		27

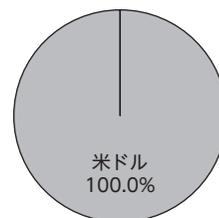
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものです。

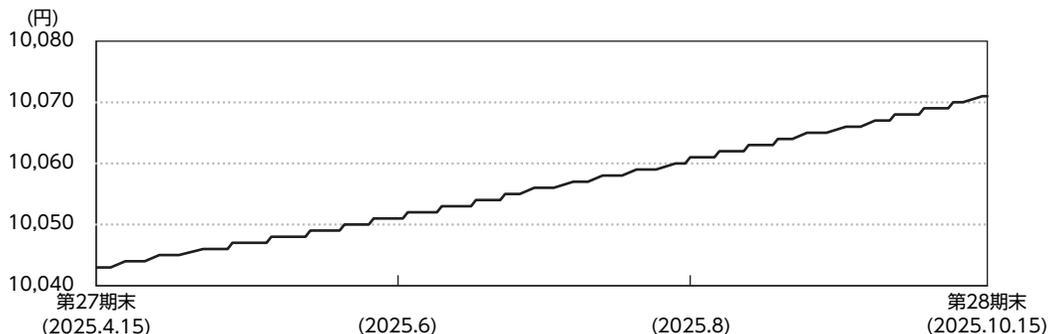
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日(2025年8月29日現在)のものであり、比率は外国投資信託証券の組入株式等に対する評価額の割合です。なお、国別配分はTCWアセット・マネジメント・カンパニーの分類によるものです。

(注3) 1万口当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の投資有価証券明細表をご参照ください。

## ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



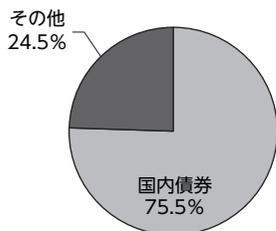
### ■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第160回 共同発行市場公募地方債	円	13.2%
第752回 東京都公募公債	円	9.7%
第158回 共同発行市場公募地方債	円	8.8%
第756回 東京都公募公債	円	8.8%
平成28年度第5回 愛知県公募公債	円	8.8%
平成28年度第1回 広島県公募公債	円	8.8%
平成27年度第13回 京都府公募公債	円	8.7%
令和2年度第3回 仙台市公募公債 (5年)	円	4.4%
平成27年度第1回 静岡市公募公債	円	4.2%
組入銘柄数		9

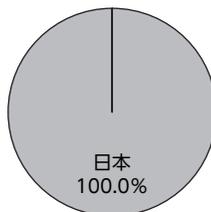
### ■ 1万口当たりの費用明細

当期 (2025年4月16日～2025年10月15日) における費用はありません。

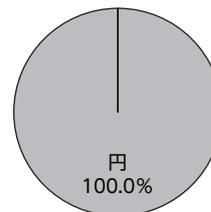
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日 (2025年10月15日現在) のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	TCWファンズ II-TCW オポチュニスティ ック・リカバリー 株式ファンド (円ヘッジクラスII)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2023年7月11日	10,000	—	—	10,000	—	—	692
1期(2023年12月11日)	9,665	0	△ 3.4	9,665	98.6	0.0	1,382
2期(2024年12月10日)	12,961	0	34.1	12,961	98.4	0.0	1,130
3期(2025年12月10日)	13,994	0	8.0	13,994	98.4	0.0	735

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額(分配落)に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	TCWファンズ II-TCW オポチュニスティ ック・リカバリー 株式ファンド (円ヘッジクラスII)	債券 組入比率
(期首)2024年12月10日	12,961	—	98.4	0.0
12月末	12,222	△ 5.7	98.6	0.0
2025年1月末	12,965	0.0	98.9	0.0
2月末	11,804	△ 8.9	98.6	0.0
3月末	10,703	△ 17.4	98.9	0.0
4月末	10,488	△ 19.1	99.1	0.0
5月末	11,623	△ 10.3	99.6	0.0
6月末	12,643	△ 2.5	98.6	0.0
7月末	13,123	1.2	98.7	0.0
8月末	13,397	3.4	99.1	0.0
9月末	13,472	3.9	98.9	0.0
10月末	14,495	11.8	98.9	0.0
11月末	13,817	6.6	99.1	0.0
(期末)2025年12月10日	13,994	8.0	98.4	0.0

(注) 期末基準価額は分配金(税引前)込み、騰落率は期首比です。

## 売買および取引の状況

2024年12月11日～2025年12月10日

### (1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
T CWファンズII - T CW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラスII)	千口 -	千円 -	千口 34	千円 437,663

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

### (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## 利害関係人との取引状況等

2024年12月11日～2025年12月10日

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入有価証券明細表

2025年12月10日現在

### (1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
T CWファンズII - T CW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラスII)	千口 84	千口 50	千円 724,117	% 98.4
合計	84	50	724,117	98.4

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

### (2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は2,056,188千口です。

## 投資信託財産の構成

2025年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
T CWファンズⅡ-T CW オポチュニスティック・リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラスⅡ)	千円 724,117	% 94.8
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	39,548	5.2
投資信託財産総額	763,675	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年12月10日現在)

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>763,675,360円</b>
コール・ローン等	16,696,913
T CWファンズⅡ-T CW オポチュニスティック・リカバリー 株式ファンド (円ヘッジクラスⅡ) (評価額)	724,117,153
ニッセイマネーマーケット マザーファンド (評価額)	10,054
未収入金	22,851,240
<b>(B) 負債</b>	<b>28,102,180</b>
未払解約金	23,297,221
未払信託報酬	4,760,770
その他未払費用	44,189
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>735,573,180</b>
元本	525,637,661
次期繰越損益金	209,935,519
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>525,637,661口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	13,994円

(注) 期首元本額	872,266,112円
期中追加設定元本額	-円
期中一部解約元本額	346,628,451円

## 損益の状況

当期 (2024年12月11日~2025年12月10日)

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>54,422円</b>
受取利息	54,422
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>63,483,456</b>
売買益	88,847,465
売買損	△ 25,364,009
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 10,120,466</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>53,417,412</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>162,520,772</b>
(分配準備積立金)	( 162,520,772)
<b>(F) 追加信託差損益金*</b>	<b>△ 6,002,665</b>
(配当等相当額)	(△ 1,054)
(売買損益相当額)	(△ 6,001,611)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>209,935,519</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>209,935,519</b>
追加信託差損益金	△ 6,002,665
(配当等相当額)	(△ 1,054)
(売買損益相当額)	(△ 6,001,611)
分配準備積立金	215,938,184

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
- (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
- (注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	45,314円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	53,372,098円
(c) 信託約款に定める収益調整金	0円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	162,520,772円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	215,938,184円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	4,108.12円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円

## お知らせ

### ■運用報告書の電子交付について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献につながるものとらせています。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供も進めていきます。

(2025年4月1日)

### ■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

(2025年4月1日)

## 運用者情報

### ■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

### ■限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式厳選ファンド2023-07 (為替ヘッジあり)



[https://www.nam.co.jp/fundinfo/nsrkgf2307\\_a/main.html](https://www.nam.co.jp/fundinfo/nsrkgf2307_a/main.html)

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2023年7月11日～2027年12月10日	
運 用 方 針	<p>外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。</p>	
主要運用対象	限定追加型・繰上償還条項付 ニッセイ世界リカバリー株式 厳選ファンド2023-07 (為替ヘッジあり)	「TCWファンズⅡ-TCWオポチュニスティック・リカバリー株式 ファンド (円ヘッジクラスⅡ)」および「ニッセイマネーマーケット マザーファンド」
	TCWファンズⅡ-TCW オポチュニスティック・ リカバリー株式ファンド (円ヘッジクラスⅡ)	米国の証券取引所等に上場している日本を含む各国の株式 (DR (預 託証券) を含みます)
	ニッセイマネーマーケット マザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品
運 用 方 法	<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・デリバティブの直接利用は行いません。</li> <li>・株式への直接投資は行いません。</li> </ul>	
分 配 方 針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託者の判断により、分配を行わないことがあります。</p>	

# TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド

以下は、「TCWファンズⅡ－TCWオポチュニスティック・リカバリー株式ファンド」(ケイマン籍外国投資信託証券)の2025年8月29日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

## (1) 損益計算書 (2024年8月31日～2025年8月29日)

	(円)
<b>収益</b>	
配当収益	15,729,942
利息収入	6,170,423
現金および現金同等物に関する外国通貨の純利益	51,183,137
公正価値を通じて損益計算書に計上される金融資産および金融負債のその他の純変動	1,688,314,373
その他収益	1,549
<b>収益合計</b>	<b>1,761,399,424</b>
<b>費用</b>	
受託者報酬および管理事務代行報酬	13,353,098
監査費用	4,595,543
カストディアン費用	5,968,873
管理費用	22,418,910
その他費用	1,783,626
<b>費用合計</b>	<b>48,120,050</b>
<b>営業利益合計</b>	<b>1,713,279,374</b>
<b>税引前営業利益</b>	<b>1,713,279,374</b>
源泉徴収税	(4,615,561)
<b>営業による償還可能ユニットの保有者に帰属する純資産の増加</b>	<b>1,708,663,813</b>

## (2) 投資有価証券明細表 (2025年8月29日現在)

## The TCW Funds II - TCW Opportunistic Recovery Equity Fund (TCWOREH, TCWOREU)

Stock	Currency	No. of Shares	Market Value (JPY)	Weight(%)
Shopify, Inc. Class A	USD	3,082	63,931,269	8.2%
NVIDIA Corporation	USD	2,478	63,372,316	8.1%
Vertiv Holdings Co. Class A	USD	2,852	53,410,912	6.9%
Meta Platforms Inc Class A	USD	475	51,518,324	6.6%
CyberArk Software Ltd.	USD	714	47,516,628	6.1%
Eaton Corp. Plc	USD	918	47,058,957	6.0%
Roku, Inc. Class A	USD	2,938	41,653,266	5.4%
Cognex Corporation	USD	6,117	39,463,767	5.1%
TransUnion	USD	2,757	35,784,013	4.6%
Zoetis, Inc. Class A	USD	1,361	31,253,227	4.0%
Natera, Inc.	USD	1,205	29,767,484	3.8%
Guardant Health, Inc.	USD	2,652	26,251,993	3.4%
Norfolk Southern Corporation	USD	583	23,966,001	3.1%
Datadog, Inc. Class A	USD	1,151	23,098,315	3.0%
Charles Schwab Corp	USD	1,629	22,922,812	2.9%
Advanced Micro Devices, Inc.	USD	790	18,863,738	2.4%
Marvell Technology, Inc.	USD	1,999	18,451,077	2.4%
Dollar Tree, Inc.	USD	1,121	17,968,380	2.3%
Snowflake, Inc.	USD	493	17,275,338	2.2%
Baxter International Inc.	USD	4,401	15,954,106	2.1%
RH	USD	461	15,274,773	2.0%
Deere & Company	USD	211	14,828,303	1.9%
Floor & Decor Holdings, Inc. Class A	USD	1,123	13,507,336	1.7%
DexCom, Inc.	USD	1,203	13,307,339	1.7%
Micron Technology, Inc.	USD	677	11,829,656	1.5%
Baidu, Inc. Sponsored ADR Class A	USD	841	11,767,627	1.5%
BJ's Restaurants, Inc.	USD	1,646	8,110,578	1.0%

# ニッセイマネーマーケット マザーファンド

## 運用報告書

### 第 28 期

(計算期間：2025年4月16日～2025年10月15日)

#### 運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

#### 主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

#### 運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。  
・外貨建資産への投資は行いません。



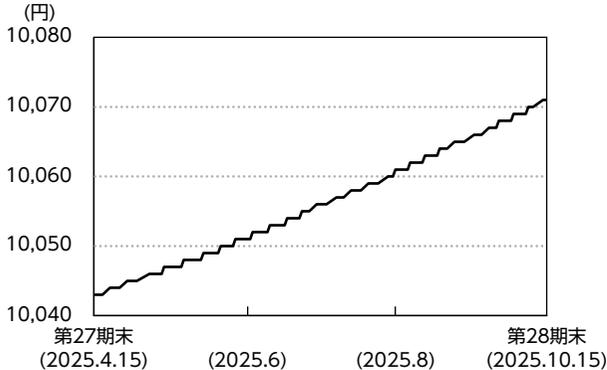
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

## 運用経過

2025年4月16日～2025年10月15日

### 基準価額等の推移



#### ■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

### ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1	720
25期 (2024年4月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375
27期 (2025年4月15日)	10,043	0.1	73.1	2,007
28期 (2025年10月15日)	10,071	0.3	75.5	2,053

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年4月15日	10,043	—	73.1
4月末	10,045	0.0	73.4
5月末	10,049	0.1	68.8
6月末	10,053	0.1	78.2
7月末	10,058	0.1	74.2
8月末	10,063	0.2	88.3
9月末	10,068	0.2	75.9
(期末)2025年10月15日	10,071	0.3	75.5

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2025年4月16日～2025年10月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,056円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年4月16日～2025年10月15日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	993,341	－ (781,000)
	特殊債券	－	－ (132,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年4月16日～2025年10月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
第160回 共同発行市場公募地方債	270,370	－	－
平成28年度第5回 愛知県公募公債	181,019		
第756回 東京都公募公債	181,017		
第158回 共同発行市場公募地方債	180,968		
平成28年度第1回 広島県公募公債	179,966		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年10月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	1,556,000 (1,556,000)	1,551,163 (1,551,163)	75.5 (75.5)	—	—	—	75.5 (75.5)
合計	1,556,000 (1,556,000)	1,551,163 (1,551,163)	75.5 (75.5)	—	—	—	75.5 (75.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ( )内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第752回 東京都公募公債	0.1260	2025/12/19	200,000	199,827
	第756回 東京都公募公債	0.0500	2026/ 6 /19	182,000	181,321
	平成27年度第13回 京都府公募公債	0.1100	2026/ 3 /17	180,000	179,556
	平成28年度第5回 愛知県公募公債	0.0700	2026/ 6 /29	182,000	181,287
	平成28年度第1回 広島県公募公債	0.0800	2026/ 5 /25	181,000	180,366
	第158回 共同発行市場公募地方債	0.0800	2026/ 5 /25	182,000	181,352
	第160回 共同発行市場公募地方債	0.0500	2026/ 7 /24	272,000	270,636
	平成27年度第1回 静岡市公募公債	0.4760	2025/11/25	87,000	86,994
	令和2年度第3回 仙台市公募公債(5年)	0.0100	2026/ 1 /28	90,000	89,818
	合計	—	—	—	1,551,163

投資信託財産の構成

2025年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,551,163	75.4
コール・ローン等、その他	507,237	24.6
投資信託財産総額	2,058,400	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

# ニッセイマネーマーケットマザーファンド

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年10月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	2,058,400,655円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	506,876,504
公 社 債 (評価額)	1,551,163,528
未 収 利 息	353,405
前 払 費 用	7,218
(B)負債	5,213,812
未 払 解 約 金	5,213,812
(C)純資産総額(A-B)	2,053,186,843
元 本	2,038,753,014
次 期 繰 越 損 益 金	14,433,829
(D)受益権総口数	2,038,753,014口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,071円

(注1) 期首元本額 1,998,869,660円  
 期中追加設定元本額 267,722,944円  
 期中一部解約元本額 227,839,590円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス (毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド (適格機関投資家限定)	49,839,665円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド (年2回決算型)	9,984円
J P X日経400アクティブ・オープンミドル投資型	9,976円
J P X日経400アクティブ・プレミアム・オープン (毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン (年2回決算型)	9,974円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド (為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド (為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド (資産成長型)	9,968円
D Cニッセイターゲットデートファンド2025	1,988,524,484円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド (資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジエスト新興国成長株ファンド (年2回決算型)	9,969円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイAⅠ関連株式ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド (資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド (資産成長型)	9,972円
ニッセイ/シュローダー・リターンCBファンド2023-02 (為替ヘッジあり・限定創設)	9,974円
限定創設・横上長期運用ニッセイ世界カントリー株式ファンド2023-07 (為替ヘッジあり)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド (毎月決算型)	9,975円
ニッセイS&P500リカバリー戦略株式ファンド	9,973円
ニッセイ・インド中小型株式ファンド	9,969円
ニッセイ・インド株式ファンド<購入・換金手数料なし>	9,964円
ニッセイ・インド株式オープン (資産成長型)	9,939円
ニッセイ・インド株式オープン (3ヵ月決算型)	9,939円
ニッセイ/シュローダー・リターンCBファンド2025-09 (為替ヘッジなし・限定創設)	9,934円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド (年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

## 損益の状況

当期 (2025年4月16日~2025年10月15日)

項目	当期
(A)配当等収益	2,620,101円
受取利息	2,620,101
(B)有価証券売買損益	3,025,245
売 益	3,340,413
買 損	△ 315,168
(C)当期損益金(A+B)	5,645,346
(D)前期繰越損益金	8,595,717
(E)追加信託差損益金	1,494,711
(F)解約差損益金	△ 1,301,945
(G)合計(C+D+E+F)	14,433,829
次期繰越損益金(G)	14,433,829

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。